

『時事直言』 No.1494 2021年9月21日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](#)



時事評論家 増田俊男

中国不動産バブル

今日 NY ダウは取引期間中約 900ドル下げ、終わりは 614ドル安で 34,000ドルを割って 33,970ドルで終わったが、ニッケイも NY の下げを受けて 600円以上下げ 30,000円を割って 29,800円台である。

中国の不動産大手中国恒大集団のドル建て債務約 195 億ドル(約 2 兆円)の債務不履行の懸念が明るみになった為の下げである。

2020 年にも福建省の大手不動産会社がドル建て債務 22 億ドル(2,300 億円)が不履行となったが中国政府は救済しなかった。

中国政府の不動産投資過熱抑制政策の為だと思われた。

となると中国恒大集団の救済もないだろう。

世界最大投資ファンドのブラックロックや欧州の投資銀行が恒大に投資をしているのでデフォルト(債務不履行)になれば影響は世界に及ぶ。

まだ第二、第三の恒大が続くので中国発の悪情報が続くことになる。

株価下落月とされている 9 月の株価は悲観心理で上げようにも上げようがない。

10 月はアメリカでインフレがさらに進行、増税、緩和縮小の月だから、これまた株価は上がりようがない。

ところが誰もが考えているようにならないのが株価。

日本時間明日 22 日、FRB パウエル議長の記者会見を聞いた後の「インターネット国際政経塾」(増田塾)最終日で 9 月末までと 10 月からの株価動向を詳しくお話する。

今日の講義内容

1. 今週の株価動向(本日午前中配信済み)
2. 張り子の虎中国を真珠湾攻撃(窮鼠猫を噛む)に追い込むバイデン(アメリカ)
3. ファーウェイで二極化する米中両陣営
4. アメリカは安全保障、中国はインフラ
5. アメリカの価値観(民主主義)は 2025 年までのドル基軸制廃止で終わる

明日は金本位制(2025 年から)と新たな中央銀行制について

今「インターネット国際政経塾」(増田塾)に入学すると、9 月 10 日からの総ての講義をお好きな時に何度でも視聴することが出来ます。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法: Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。